

沖縄県立向陽高等学校 SSH(スーパーサイエンスハイスクール)

SSH(スーパーサイエンスハイスクール)とは

高等学校における先進的な科学技術、理科・数学教育を通して、生徒の科学的能力及び技能並びに科学的思考力、判断力及び表現力を培い、もって、将来国際的に活躍し得る科学技術人材等の育成を図るため、国は平成 14 年度より SSH (スーパーサイエンスハイスクール) 事業を開始しました。R3 年度現在では、全国に 22 2 校の SSH 校が指定され、それぞれの研究テーマの元に理系人材の育成を図っています。

沖縄県では、「球陽高校」(平成 25 年指定、2 期 9 年目)と本校「向陽高校」(平成 31 年指定、1 期 3 年目)の 2 校が現在は国の指定を受けて、先進的な理系人材の育成を行っています。(令和 3 年 4 月現在)

参考 HP(JST : HP) [スーパーサイエンスハイスクール\(SSH\) \(jst.go.jp\)](http://super-science-school.jp)

沖縄県立向陽高等学校の SSH について

研究開発課題 「地域の自然で探究の基礎を身に付け、主体性・協働性を基礎とした国際的科学人材の育成」

研究の目的 「課題探究活動を通して、主体的に課題に取り組み、協働して解決しようとする科学的思考・姿勢を育成する。」

沖縄県立向陽高校 SSH の特徴

特徴 1

課題研究を柱とした教育課程(1 年「SS リテラシー」・2 年「SS 課題探究 I」・3 年「SS 課題探究 II」)を系統的に配置することで、研究の基礎を学び、自ら課題を見だし、検証を行い、課題の解決を目指すことで「科学的探究力」を身につけます。その他、「SS 情報」や「SS 科学表現」などの SSH 科目も設置します。

特徴 2

本校は国際性を養うため、創立以来、2 年生全員を対象に海外研修を実施してきましたが、「向陽 SSH 海外研修」や 2 年「SS 科学表現」での英語による論文作成を通して、国際性を持って主体的に行動できる理系人材の育成を図ります。

特徴 3

国際文科や普通科の生徒に対しても、総合的な探究の時間での探究活動や通常授業においても主体的・対話的な学びを推進します。

特徴 4

沖縄島南部の豊かな自然と考古学的な地域素材((サキタリ洞遺跡・港川フィッシャー遺跡)を活用し、探究の基礎を身に付けます。「地理歴史公民科巡検」で訪れる遺跡を、科学的な見地からアプローチし、教科横断的に取り組みます。

沖縄県立向陽高等学校 スーパーサイエンスハイスクール 概要

地域の自然で探究の基礎を身に付け、主体性・協働性を基礎とした国際的科学人材の育成

